

⇩ 平成26事務年度、相続税の調査状況

Q : 平成26年の相続税の調査状況が公表されたようですが、どのような内容でしたか？

A : 次のような内容でした。

【解説】

さきごろ、国税庁から平成26事務年度における相続税の調査状況が公表されました。

主な内容は、次のとおりです。

- ① 実地調査件数及び申告漏れ等の非違件数
実地調査の件数は12,406件(昨年度11,909件)、このうち申告漏れ等の非違があった件数は10,151件(同9,809件)で、非違割合は81.8%(同82.4%)でした。
- ② 申告漏れ課税価格
申告漏れ課税価格は3,296億円(昨年度3,087億円)で、実地調査1件当たりでは2,657万円(同2,592万円)でした。
- ③ 申告漏れ相続財産の内訳
申告漏れ相続財産の内訳は、現金・預貯金等1,158億円(昨年度1,189億円)が最も多く、続いて有価証券490億円(同355億円)、土地414億円(同412億円)の順となっています。
- ④ 追徴税額
追徴税額(加算税を含む)は670億円(昨年度539億円)で、実地調査1件当たりでは540万円(同452万円)となっています。
- ⑤ 重加算税の賦課件数
重加算税の賦課件数は1,258件(昨年度1,061件)、賦課割合は12.4%(同10.8%)でした。

